

## 性能

項目		ヒビストップ種類	備考
		内外壁用	
圧縮強さ (kgf/cm <sup>2</sup> )		240	JIS A 6203に準じる
下地との 付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	コンクリート	2.41	建築研究所方式引張試験器による。 ・塗厚：1mm ・養生：7日 ・気温：23℃ ・湿度：60%  3箇所測定後、平均値算出
	石膏ボード	0.34	
	ケイカル版	0.69	
	コンパネ	1.62	
	木板	1.51	
	御影石・大理石	2.53	
	ステンレス	0.74	
	ブリキ	0.65	
	フレキシブルボード・サイディングボード	1.30	
	プラスチック	0.21	
スタイロホーム	0.28		
耐衝撃性		割れ・剥がれ無し	JIS A 6916に準じる

※ 測定値の低いものは、基板の応力不足により基板が破壊された時の数値です。

## ご使用前に

- 天災（極度の地震や台風など）、構造上（地盤の軟弱な建物、揺れを起因する交通量の激しい道路に面した建物など）、木下地（コンパネ・ベニヤなど、乾燥不足による急激な収縮）、下地の結束不良等によるあばれ、異種な下地の継手など、下地のヒビストップ材には影響がなくても、仕上げ材に影響がでてヒビ割れする場合があります。
- ヒビストップ材の弾性性能には限界があります。又、ヒビストップ材は下地の不具合を補填するものではありません。
- 仕上げ材そのものによるヒビ割れには対応しません。

## 施工上の注意

- 仕上げ材を塗り付ける際は、必ずヒビストップ材・乾燥後に行なってください。
- 「ヒビストップ・内外壁用」は、急激に固まるがありますが、接着剤・3倍溶液を作業軟度に合わせ混入し攪拌すると、長時間作業軟度を保つことができます。
- 施工箇所廻りの木材などにも養生が必要です。
- 気温が5℃以下の場合は、施工を見合わせてください。
- 清水を加えたヒビストップ材は、夏場で1時間、冬場で2時間以内に使いきってください。
- ヒビストップ材使用后、道具類・衣服についた汚れなどは、速やかに洗い流してしてください。
- 施工の際は、必ず塗り厚・手順等を守って施工してください。
- セメント系材料の為、白華することがあります。予めご了承ください。

## 安全上の注意

- 本品が誤って、目、鼻、口、喉に入った際には速やかに清水で洗浄してください。また、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- 取り扱いの際には、状況に応じて適切な保護具を着用してください。
- 配送や保管にあたってはセメントと同様とし、水濡れ、湿気等には十分ご注意ください。
- 本品を廃棄する場合は、産業廃棄物として適切な処置をしてください。